講習会「新たにわかった東日本大震災における鉄骨置屋根体育館の被害」
～ 被害調査報告と耐震診断・耐震補強設計の留意点 ～ 福島会場

主　催　一般社団法人　日本建築構造技術者協会東北支部
一般社団法人　建築研究振興協会東北分室
仙台建築構造設計事務所協会
後援社団法人　福島県建築士事務所協会
福島県鉄構工業組合　青年部

1．　日　時　　平成25年2月23日（土）14：00～17：00（受付開始　13：30）

2．　場　所　　コラッセ福島（福島駅西口）　福島市三河南町1番20号

3．　プログラム

（1）開会のあいさつ　(一般社団法人)日本建築構造技術者協会
東北支部長　加藤重信

（2）鉄骨置屋根構造の被害例
①N体育館の被害　平塚正一郎　㈱コンステック東北事業部
②M体育館の被害　井戸川隆一　㈱東北三興設計
③K体育館の被害　濱尾博文　エーユーエム構造設計㈱

（3）被災建物の復旧事例報告　渡辺 勝　㈱ウインズ（福島県鉄構工業組合）

休憩　10分

（4）鉄骨置屋根構造の問題点　小野瀬順一　東北工業大学名誉教授

（5）これからの課題　小野瀬順一　東北工業大学名誉教授

（6）閉会のあいさつ　仙台建築構造設計事務所協会 会長 梶原紀久夫

平成25年2月23日（土）
会場：コラッセ福島　午後２時
「新たにわかった東日本大震災における鉄骨置屋根体育館の被害」講習会
ＮＯ.１
加藤重信東北支部長あいさつ

ＮＯ.２
加藤重信東北支部長あいさつ

ＮＯ.３
会場状況
60名を超える参加人員がありました

NO.4
平塚講師講義状況
その後、井戸川講師、濱尾講師の講義がございました

NO.5
会場状況

NO.6
会場状況
渡辺講師の講義状況

ＮＯ．７
渡辺講師講義状況
現場での施工に関する対応についても説明して頂きました

ＮＯ．８
鉄骨屋根構造の問題点
小野瀬教授

ＮＯ．９
小野瀬教授講義状況
力と破壊との関係を、より分かり易い内容として説明して頂きました